

野菜の力



大井営農研究会

会長
まさみ
関野正己さん
(うれし野一)

大井営農研究会は、12人の会員で講習会や視察、立毛審査会（収穫前の作物の出来具合を審査する催し）などを行っています。講習会では、市街化区域の農地を持つ農家が多いことから税金に関するテーマなども取り上げています。

農家を取り巻く状況は厳しいですが、会員同士励まし合いながら、それぞれが創意工夫して、よりおいしいものを作ろうと日々頑張っています。



西部農事研修会

会長
横山裕一さん
(大井武蔵野)

西部農事研修会は、21人の会員が農業技術を向上させるため講習会や視察研修会、立毛審査会などを行っています。

立毛審査会では日ごろの努力が試されるので、みんな自分の畑が審査される順番になると緊張した表情になりますね。

これからもお互いに情報交換して刺激合いながら、地域農業の発展に力を尽くしていきたいと思っています。



ふじみ野市4Hクラブ

前会長
内田保太郎さん
(大井)

ふじみ野市4Hクラブは、ふじみ野市と富士見市に住む20代の農業者7人で、地元の農業を盛り上げるために頑張っています。主な活動は産業まつりでの野菜直売や小・中学校の草刈りなどです。

7人の中でお茶農家は私だけですが、一緒に楽しみながら目標をもち真剣に農業に取り組んでいる今のメンバーに出会えたことは、一生の宝です。

都市化の流れの中でも、若い農業者の仲間を増やし、農業を守っていきたくと思っています。



「採れたてふじみ野畑」では、いろいろな新鮮野菜やお茶、お花などを売っています。
右下／横山恵子さん（大井武蔵野）
「きれいなお花を見させてください」



「いい小松菜が採れたよ」とほほ笑む内田晃生さん(駒林)

採れたてふじみ野畑

市は、農業者と市民のふれあいの場をつくり地元農業への理解を深めてもらうため「採れたてふじみ野畑」を開催しています。地元で採れた旬の新鮮野菜などを直売し、地産地消を推進しています。

平成23年9月の開始当初から参加している内田さんは、「心を込めて作った新鮮な野菜をお客さんに直接売ることができてうれしい。おいしいものをいっぱい食べてほしいですね」と話していました。

採れたてふじみ野畑は、毎月第1火曜日に大井総合支所1階で、第3火曜日に市役所本庁舎玄關脇などで開催しています（29ページもご覧ください）。



9月初めに種をまき、芽を出したばかりのホウレンソウの状況を点検する関野さん。



去年11月に行われた立毛審査会の様子



内田さんが丹精込めて作った手もみのお茶。全国手もみ茶品評会で平成23年度から3年連続で3等入賞の腕前。

4Hとは 農業改良と生活改善に役立つ腕（Hands）を磨き、科学的に物を考えられる頭（Head）の訓練をし、誠実で友情に富む心（Heart）を培い、楽しく暮らし、元気で働くための健康（Health）を増進するという4つの信条の頭文字を総称したものです。

団結する力

市内で活動している生産者団体の皆さんにお話を伺いました。

市民農園でコミュニティづくり

東台第1市民農園を利用している増田文夫さん(市沢三)

エステ畑の会の皆さん

平成23年9月にこの市民農園がオープンした時から利用しています。市民農園でよく見かける人が同じマンションの住人であることが分かり、そこから輪が広がって「エステ畑の会」ができました。現在は9世帯で情報交換や親睦の場を設けています。

野菜作り自体も楽しいことですが、仲間と栽培方法や野菜料理のレシピを教え合ったり励まし合ったりしてコミュニケーションを取ること、より有意義に過ごせていると感じています。